

令和3年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（三洋建設株式会社）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容> 導入機器：自動追尾型TS（杭ナビ）、3次元設計データ作成ソフト（SiTECH3D）

<参加者> 13名（建設会社：3社6名、県職員：1名、市町村職員：6名）

<工事概要> 工事名：令和3年度 長浜572号線 歩道整備工事
 請負代金：17,848,600円、工期：令和3年9月17日～令和4年2月27日
 重力式擁壁工L=60.0m ブロック積工L=70.1m
 ※ICT活用工事ではない



施工者のコメント

今回導入した杭ナビを本工事で初めて使用しましたが、出来型管理だけでなく日々の掘削や型枠の位置出し等、色々な場面で活躍してくれました。3次元設計データさえきちんと出来ていれば現場作業は格段に効率よく出来るようになる為、これからは積極的に使っていきたいと思います。

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元起工測量	従来通り	-	-	-	-
3次元設計データ	SiTECH3D (今回購入)	3人・日	3人・日	0%	3次元設計データ作成は、初めてであり時間を要したが、慣れると短縮可能となる。
ICT施工	従来通り	-	-	-	-
3次元出来形管理	杭ナビ (今回購入)	1人・日	0.3人・日	-70%	出来形測量にかかる人役を削減することができ、時間短縮ができた。(2人→1人)
合計	-	4人・日	3.3人・日	-18%	現場管理の負担が軽減できた。

発注者のコメント

3次元出来形管理において、従来は、2人で測量していたが今回の工事では、今回購入した杭ナビを使用することで1人で測量することができ、従来手法に比べ、作業時間が短縮できた。また、出来形管理だけでなく、型枠の位置出しなど、日々の業務でも杭ナビを使用することで作業の効率化が実現した。今後、3次元設計データ作成に慣れていくことで更なる生産性向上が見込まれる。